

# 白馬山麓における雪崩事故防止事業

## 取り組みに至る背景・事業の目的

近年バックカントリースキー・スノーボード人気の上昇とともに、白馬村・小谷村では安易に冬期山岳地域に入山する滑走者が増えており、これに伴い遭難事故も少しずつ増加している。

この背景を受け、山岳地域の気象情報および雪崩に関する情報を発信することで、バックカントリースキー・スノーボードだけでなく、冬期登山や建設現場も含めた雪崩事故防止を目的とする。

## 事業内容

- 白馬乗鞍岳の三角点近く（標高約 2,436m）に気象観測装置を設置し、風向・風速・気温・雪温・湿度・日射を観測。
- 観測した気象データや実際に会員達が山岳地域に入山した際の情報を収集し、積雪状態や雪崩の危険に関して分析した。
- 収集した気象観測データ、および分析した積雪状態や雪崩の危険に関する情報を「北アルプス北部 雪崩に関する情報」としてACTホームページ上に公開した。  
（日本語と英語）情報発信期間は12月中旬～4月上旬。
- 情報発信に関わるソフト開発及びシステム構築を実施。

## 事業効果

- 「北アルプス北部 雪崩に関する情報」を発信しより多くの方々に活用していただくことで、冬期山岳地域での遭難および建設現場での雪崩事故防止に効果が得られた。
- スキー・スノーボード滑走者、登山者、建設現場事業者の方々の事故防止への意識の向上が図れた。
- 英語で情報発信することにより、増加している外国人観光客への事故防止に貢献するとともに、安全安心な観光地のPRとなった。

## 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

高標高の冬期山岳地域での気象観測装置のメンテナンス作業（動作確認やワイヤーのゆるみ点検等）に苦労した。観測した気象データを数年間蓄積・分析し、今後さらに精度の高い情報を発信し、事故防止の効果を高める必要がある。この活動をより多くの方々に知っていただけるよう、ポスターや印刷物などによる周知が今後の課題である。

**【選定のポイント】**  
 山岳観光地において雪崩事故防止に取り組むモデル的な事業である。また、危険度情報の発信や事故防止の啓発活動を行うことにより、安全安心な観光地づくりに大きく寄与している。

団体名	NPO法人ACT（白馬村）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	事務局 高木 律子	事業費	3,258,500円
ホームページ	http://act.japan.org	支援金額	2,426,000円



【気象観測装置（標高約 2,436m）】



【北アルプス北部雪崩に関する情報】

